ソフト面対策の実施スケジュール

		対 策 実 施 時 期						
			H22年度 H23年度 -3月 4月~6月 7月~9月 10月~3月			H 2 4 年度	H 2 5年度~	備考
			4月~6月	7月~9月	10月~3月			事情,
緊急時対応体制の強化	 ・事故時対応体制の整備 ・同時作業の対応強化、運転を助勢する要員の確保、発電所駐在者への訓練 ・設備改善による作業時間の短縮 ・緊急時呼出システムの強化 ・拠点(寮など)や、社長、原子力事業本部長、所長、副所長への衛星携帯電話の配備 ・要員等の移送手段の多様化 				検討 設備改造 登録要員の増加 電話の配備 検討/実施	体制強化サーバの複数		事放時対応体制の確立:平成23 (年4月実施済み
発電所支援体制の強化	·原子力事業本部の機能拡充 ·メーカとの連絡·支援体制強化				検討 体制強化	設備の配備 通信手段構築		
通信の強化	・衛星携帯電話の増強、緊急時衛星通報システムの 構築、トランシーバ、携行型通話装置の配備 ・衛星電話の追加配備 ・社内LANが使用可能な衛星可搬局の設置 (・発電所内通信設備の免震事務棟への移設)				電話配備衛星可搬	局の配備		トランシーバ、携行型通信装置等 の配備:平成23年6月済 緊急時衛星通報システムの配 備:平成23年10月済 発電所内通信設備の免震事務棟への移設は免震事務棟の設置に 合わせて実施予定
マニュアル整備と訓練の実施	・既存マニュアルの改正及び新規マニュアルの制定、 運転員のシミュレータ訓練 ・過酷事故時のマニュアル見直し ・整備したマニュアルに基づく訓練、対応の習熟、マニュアル改善事項の抽出 ・全1ニット同時対応、福島事故を反映した防災訓練				確認維続訓練	対策 したマニュアルの		既存マニュアルの改正及び新規マニュアル・ マニュアル・ ・ 平成23年6月済
資機材運搬手段の多様化	・消防ポンプ燃料の発電所郊外からの空輸 ・要員運搬に必要な環境整備 ・空路・要員運搬のため本店屋上、各発電所社宅・寮 近隣へ以前・トからの輸送を ・海路・関西方面等からの大型船舶による資機材運搬 手段の充実、岸壁の耐震・耐津波補強の検討				検討 実施			ヘリコブターによる燃料輸送手 段: 平成23年4月確保済み
被ば〈管理の強化	·高線量対応防護服等の資機材の確保、放射線管理体制の整備 ・内部被ば〈評価の迅速化検討、内部被ば〈評価用測 定器の追加配備		-		検討/実施			高線量対応防護服等の資機材確保、放射線管理体制整備: 平成23年6月済

ハード面対策の実施スケジュール

